

桜山ふれあいげんき祭りで学校と地域が盛り上りました

今年で14回目を迎えた「げんき祭り」ですが、本校6年生の子供たちも司会や受付、出店スタッフとして参画しました。参加者も多く、たくさんの笑顔を見ることができました。地域の方との交流を通して、子供たちもたくさん「人のシャワー」を浴びて成長したことでしょう。

よさこい踊りに在校生だけでなく卒業生も参加したり、終了後に振り返りの会でたくさん褒めていただきいたりした経験は、20～30年後の主役となつて、この地域を盛り上げようという決意を抱くことにつながったのではないで

しょうか。



①②開会式（久能会長と6年生のあいさつ、浅田市長あいさつ③有明高校の太鼓演奏④低学年ダンス「一番かわいいぱびぱべPOP！」⑤中学年ダンス「花笠音頭」⑥高学年ダンス「よさこい踊り」⑦荒尾ひょっこ笑炎隊「ひょっこ踊り」⑧後荒尾さのよい踊子隊＆舞楽采翔「よさこい踊り」⑩6年生とげんきかいの方との振り返り会



～今回の主な記事～

- ◆桜山ふれあいげんきまつり 桜山ふれあいげんき祭りで学校と地域が盛り上りました
- ◆オンラインゲームをはじめSNSトラブル増加中
- ◆見通しを持つための三か月予定
- ◆季節の変わり目にご用心
- ◆主体的に動く子供たちが育っています
- ◆コラム



オンラインゲームとは、オンラインでつながった相手とリアルタイムでゲームができるうえ、ボイスチャットもできるものです。年齢指定（15歳以上など）されているものも多いのですが、実質小学生も多数やっています。ゲームの性質上、激しい言葉遣いも多く、それが基でトラブルになっています。

また、各種SNSは、不特定（年齢・性別も不明）の人とのつながりが手軽にできてしまっています。メッセンジャーAPIでは、短い言葉のやり取りから、真意が伝わらず誤解を生じさせ、トラブルに発展するケースも多いようです。

ネット上、あるいはスマホの中のトラブルは、個人情報も絡むため、学校で指導することが困難です。子供たちの使用状況や下で、管理・監督をされて、トラブルの未然防



オンラインゲームをはじめSNSトラブル増加中

見通しを持つための 三ヶ月予定

10月の予定

11月の予定

厳しかった残暑ですが、ようやく朝夕は涼しくなってきました。しかし、昼間は、まだまだ30度を超す日もあり、寒暖差が大きくなる時期です。さらに、気圧の変動も大きくなる季節の変わり目は心身ともに変調をきたすことが多くなり、自律神経が乱れてしまうためだそうです。



夏の疲れと言われる「夏バテ」もこの時期に出やすくなりますので、今まで以上に生活リズムを整えて、気をつけてください。

主体的に動く子供たちが育っています

朝から正門前で子供たちが登校してくるのを待つていると、両手にたくさんのゴミを持って来る子がいました。話を聞くと、通学路途中にたくさんのゴミが落ちていたので、拾ってきたとのこと・・・。

結構大きめのゴミもあり、意図的にポイ捨てしたとしか思えないようなものばかりでした。ゴミに気づき、主体的にゴミを拾おうと行動してくれたのです。

また、毎朝正門前には6年生の有志が集まつて、あいさつタッチ運動も繰り広げています。さらに、この時期は落ち葉が毎日のようにたまつてているのですが、これも私と一緒にせつせと集めて捨てるのです。よりよい学校・地域を主体的に動いて、創り上げようとする子供たちの姿に誇らしさを感じました。



▼9月9日(火)に玉名教育事務所から教育事務所長他2名の方々が来校されて、授業の様子や学校全体を参観していただきました。▼「どの学級もあたたかい雰囲気がある」「生方の元気が伝わってきた」「学び方(あらおベーシック)の共通実践ができる」「掲示物の作文では最後まできちんと書いてあり、先生から温かいコメントが記入してある」「古い校舎ではあるが、トイレ等、大事に使っているのが伝わってくる」など、訪問者の皆様から、たくさんのおほめの言葉をいただきました。▼先生方の頑張り、子供たちの頑張りをしっかりと認め、ほめ、励ましていただいたことを今後も継続していきたいと思います。